

●令和6年度当初の値

圏域内の居宅介護支援事業所数	16
主任介護支援専門員の人数	24
介護支援専門員の数	41

●令和6年度のケアプラン総数

基準月	ケアプラン作成数	直持ちプラン件数	委託率（％）
令和6年3月	315	22	93.0%
令和7年3月			

	事業の内容	門真市目標値		前年度実績		活動計画		上半期実績		前年度の実績を踏まえた当該年度の目標	上半期の活動内容のまとめと課題	上半期実績に対する市の講評
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数			
ケアマネジメントの継続的業務	事例検討会	1		1		2	20	1	12	●居宅介護支援事業所に事例検討会、及び勉強会を開催し、介護支援専門員の抱える課題の解決を目指す。研修会については、介護支援専門員のニーズに合った内容を全包括が協働し開催する。 ●居宅介護支援事業所、サービス事業所等機関と自立支援についての認識にまだ差異があると思われる。リハビリ専門職と協働することにより、高齢者の状態に即したケアマネジメントが実施できるような支援する。	●事例検討会では地域課題と言える（認知症、孤独等）昨年度検討した事例を意思決定支援の考え方を、プロセスを学び（大阪弁護士会から派遣）、意思決定支援の観点で再検討した。 ●はつらつ教室については、リハ職同行訪問の結果、緩和型サービスの利用につながるケースが多く見られる。本人の意向もあるが、その家族に事業に対して理解を得ることが難しい。広く住民に周知されている（効果等も含めて）ことも課題である。	●意思決定支援については、本市でも課題が多く、引き続き高齢者の権利擁護の観点からも検討をお願いしたい。 ●はつらつ教室については、受け皿の問題もあるが、市民への周知啓発も課題となっているため、市と協働して市民やケアマネジャーへの周知啓発などを行っていただきたい。
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
	研修会（法定外研修含む）	2		5		5	100	1	86			
	うち、他圏域との合同開催数			4				0	0			
	ネットワーク会議（圏域地域ケア会議以外の医療・関係機関等との意見交換の場など）	2		1		2	20	3	25			
	元気はつらつ教室利用者数（直持ち）		20		12		14		0			
	元気はつらつ教室利用者数（委託）				1		2		0			
ケア地域会議	個別地域ケア会議 延べ件数（実件数）	延べ3		延べ3		延べ4		延べ1（実 1）		個別地域ケア会議については多職種、時には住民の参加により、地域で解決する課題として取り組む。また住民が地域の実情を知り、地域について考える機会となるよう地域にアウトリーチし圏域ケア会議を開催する。	圏域ケア会議は秋頃に予定。過去のデータに基づき地域の課題と、包括の日常の相談内容から浮かぶ地域課題を伝えることで、地域のために活動されている民生委員とのつながりを強化することも目的としている。	●各校区など住民に近いところで会議を開催されたり、地域活動の要である民生委員との連携など今後の活動において、保険者としても重要と考えているため、今後も引き続き注力をお願いしたい。
	圏域地域ケア会議	1		1		1	20	0	0			
把介護予防業務	基本チェックリスト実施件数		30		53		60		18	他機関、地域等からの情報提供や相談業務、介護予防教室で基本チェックリストを実施し、その心身と生活の状況から、必要時は早期介入を行い、フレイル予防の啓発を行う。	介護予防教室等でチェックリストを実施、記入者には強みを評価した上で取り組みの事柄は助言している。後期もはつらつ教室をはじめ介入が必要なのは一つのツールとして活用する。	今年度目標に対して、上半期の数が少ないようである。下半期にも教室などの機会を用いてチェックリストを実施し、フレイルの方の把握などに活用していただきたい。
	上記のうち総合事業につなげた件数								0			
普及介護予防事業	介護予防教室	12	120	12	184	13	200	8	136	介護予防教室については、住民が歩いて行ける場所にこだわり、身近な自治会館、集会所、地域の金融機関等で各地域に届ることなく開催する。コロナ禍からの課題であるフレイルの原因とその対処法等、効果的で、かつ住民のニーズに合った内容とする。	●介護予防教室は各地域、住民が歩いて行ける場所で開催している。内容については地域の課題に即した内容であるとともに、住民のニーズに配慮し参加してみたいと思える、活動につながる内容の工夫も必要であり、担当の生活支援コーディネーターが各通いの場を定期訪問し、参加者の率直な意見を聞き取り、報告いただいたことを活かしたものとしたい。	●これまでも住民に近い場所での教室開催を続けており、上半期も着実に開催しておられる。 ●生活支援コーディネーターも積極的に活動され、包括支援センターとの連携も密に行われており、今後の活動にとても期待をしている。 ●MC I の発掘のため、他圏域と連携した教室開催など、新たな取組みや、市民の興味をひくような内容の教室など、今後も取り組んでいただきたい。
	うち、他圏域との合同開催数			0	0			0	0			
	出前講座			3	48			1	18			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
	介護予防教室・出前講座以外の普及啓発活動	1	10			2	16	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
地域支援事業活動	通いの場の開催支援	10	100	19	313	25	350	40	358	●既存の通いの場にはリハビリ専門職の関与と体力測定を実施する。昨年度からリハ職と協働し、他運動の情報提供を行ったが今年度も継続し参加者のモチベーションを維持する。 ●リーダー不足、後継者不足の問題には、介護予防教室等を開催し新たな住民の参加を増やして住民自らが健康づくりを行う場として活性化させること。他地域のリーダー同士の交流会等を開催し後方支援を行う。	●既存の通いの場には、体験がより効果的になるよう体力測定時にリハ職に助言や指導をいただくことでモチベーションアップを図り、他運動の情報提供を行っている。 ●通いの場には新たな参加者を増やすため介護予防教室を開催している。包括職員、生活支援コーディネーターが各通いの場を訪問し、体験の助言や介護保険等の情報の提供を行い、リーダーや参加者との関わりを続ける。	●生活支援コーディネーターと連携して、新たな通いの場の創設や、既存の通いの場への支援など積極的に進めており、上半期で今年度の目標を達成され、評価できる。 ●リーダーの成りて不足など、さまざまな問題はあろうと思うが、生活支援コーディネーターや、民生委員などの連携を引き続きお願いしたい。
	通いの場への専門職（リハ職等）派遣（派遣回数と通いの場の人数）	3	15	10	130	10	140	3	48			
	ボランティア等養成及び活動支援	1	10	0	0	1	10	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数			0	0			0	0			
介護予防開発活動の	地域包括支援センターが関わりのある通いの場の数と参加者数			15	200	16	210	16	178	圏域内自治会館の活性化を目指し、自治会関係者とのつながりをつくり新たな自治会館での通いの場の開設、介護予防活動の拠点づくりに生活支援コーディネーターに協力いただき取り組む。	生活支援コーディネーターの協力があり、地域住民の自治会離れと高齢化を危惧した自治会長に通いの場の必要性を理解いただき、通いの場が立ち上がった。後期も重点地区を定めて取り組んでいく。	コロナの影響で休んでいる通いの場があるため、再開への支援を予定されている。また、空白地域への積極的な働きかけも予定されており、戦略的に取り組まれていると見えます。
	年度内に立ち上げた通いの場数と参加者数	1	5	1	12	1	10	1	19			
認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チーム発動件数		2		0		2		0	●認知症初期集中支援事業を地域に周知する。総合相談支援業務の中で包括内で対象者の把握と検封を行い、早期に医療、必要なサービスにつながるよう支援チームの発動に努める。 ●圏域内に立ちつつある認知症カフェの開催支援を行い、住民がボランティアとして活動を継続できるようにする。	●認知症について不安を口にする住民は多いがオレンジチーム等の事業が認知されていないことは課題であり、介護予防教室等で周知を行う。併せて相談業務の中で対象者を把握し発動相談につなげていく。 ●ようやく認知症カフェが立ち上がり、開催支援を行っているが住民主導の活動には時間を要すると思われる。	認知症カフェで担い手になりうるのはおられるが、消極的なため、サポートをしている状況にある。少しずつ住民が主導できるように養成をしてください。
	認知症カフェ（立上及び開催支援）	1	5			6	120	3	88			
	認知症サポーターステップアップ講座	1	10	0	0	1	15	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
	ボランティア等養成及び活動支援	1	5			40	80	21	73			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
	家族介護教室	1	5	1	23	1	25	1	21			
任意事業	出前講座等を含めた普及啓発（家族介護教室）							0	0			
	認知症見守り教室	2	10			1	10	0	0	●介護する家族の精神的支援と技術的な支援となる内容の教室を開催し、介護する者同士が交流する機会をつくる。 ●認知症本人とその家族が畑作業を通して地域住民と交わるれんかファームの活動を継続し、認知症の方を介護する家族の支援と地域の見守り体制を構築する。	●介護者の心身のリフレッシュを目的に教室を実施。サポーター養成講座は非活動のメンバーに声をかけ準備を進めたが実現には至っていない。 ●計上は上記枠組みであるが、認知症等家族介護者の支援と地域住民の認知症の理解のためのれんかファームの活動は継続している。	●れんかファームでの家族支援や地域との繋がりづくりなど、今後も継続して実施をお願いしたい。 ●認知症サポーター養成講座参加者のうち、ステップアップ受講希望者も一定数存在するため、サポーター養成講座と認知症ステップアップ講座の開催時期の検討など効果的な実施方法についても検討いただきたい。
	出前講座等を含めた普及啓発（認知症見守り教室）							0	0			
	介護者家族交流会(立上及び開催支援)	1	5	0	0	1	5	0	0			
	介護者家族健康相談		1		0		1		0			
	認知症サポーター養成講座(一般)	2	10	3	68	3	70	1	18			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
	認知症サポーター養成講座(ジュニア)	1	10	0	0	1	10	0	0			
	うち、他圏域との合同開催数							0	0			
対面・休日の相談	夜間・休日に対面して相談対応した件数（計画の記載は不要）			実人数	延人数			実人数	延人数			
				1	1			2	2			

令和6年度 業務実績内訳

資料3-⑤

教室等事業の区分

開催日	開催場所	参加人数	区分	合同開催	事業名・教室名等	講師	備考	区分	事業項目	事業の内容
8月29日	南部市民センター	12	1-①		事例検討会		講師：大阪弁護士会 真室氏（無償）	1-①	包括的継続的ケアマネジメント支援	事例検討会
5月18日	門真住宅A地区自治会	10	1-②		ネットワーク会議		圏域課題について	1-②		研修会
6月18日	門真市役所	11	1-②		ネットワーク会議		K3:プラン提出書類	1-③		ネットワーク会議
8月21日	シルバー人材センター	4	1-②		ネットワーク会議		包括支援センター周知	2-①	地域ケア会議	個別地域ケア会議
6月20日	ズーム	86	1-②		法定外研修		感染症、高齢者虐待（居宅介護支援分科会ト協働）	2-②		圏域ケア会議
6月11日	中町ビル2F	5	2-①		個別地域ケア会議		虐待疑いの対応について	3-①	介護予防普及啓発事業	介護予防教室
5月27日	高齢者ふれあいセンター	18	3-①		防災について、在宅避難のすすめ		講師：明治安田生命（無償）	3-②		介護予防を目的とした出前講座
6月13日	千石南自治会館	11	3-①		コグニサイズ		講師：山下PT（有償）	3-③		介護予防教室・出前講座以外の普及啓発
6月15日	島頭南自治会館	21	3-①		通いの場の立ち上げに向けて		地域で通いの場立ち上げの気運にあり、運動の必要性、フレイル等の説明と運動の実演	4-①	地域介護予防活動支援事業	通いの場への専門職派遣
6月20日	ミツ島住宅集会所	22	3-①		筋肉量チェックとフレイル対策		講師：明治乳業（無料） 山下PT（有償）	4-②		ボランティア等養成及び活動支援
6月25日	門真団地A地区自治会	15	3-①		腰痛予防のための運動療法		講師：松下記念病院 PT（無償）	5-①	認知症総合支援事業	認知症サポーターステップアップ講座
6月27日	A地区自治会	13	3-①		熱中症にご用心		講師：ヤクルト（無料）	5-②		ボランティア等養成及び活動支援
7月2日	千石西町住宅A自治会	21	3-①		骨粗鬆と転倒予防		講師：山下PT（有償）	6-①	任意事業	家族介護教室
7月13日	千石西町住宅A自治会	15	3-①		笑いは健康の元、笑いヨガで元気になましょう		講師：(株)歩歩 門脇氏（無償）	6-②		出前講座等を含めた普及啓発（家族介護）
5月11日	高齢者ふれあいセンター	18	3-②		介護予防の取り組み、歌体操と頭の体操			6-③		認知症見守り教室
5月9日	下馬伏住宅	17	4-①		通いの場体力測定		山下PT	6-④		出前講座等を含めた普及啓発（認知症見守り）
7月3日	南門真ハイライフ	11	4-①		通いの場体力測定		山下PT	6-⑤		介護者家族交流会(立上及び開催支援)
7月20日	島頭南自治会館	20	4-①		通いの場体力測定・立ち上げ支援		山下PT	6-⑥		介護者家族健康相談
－	ソラストれんか	73	5-②		認知症当事者とその家族、地域住民とが畑作業を通して 交わり、認知症に対する理解を深める			6-⑦		認知症サポーター養成講座
4月9日	UR東門真団地	21	6-①		音楽療法で心と身体をリフレッシュ		講師：長江 平太郎氏（無償）	6-⑧		ジュニアサポーター養成講座
6月27日	島頭南自治会館	18	6-⑦		認知症サポーター養成講座 通いの場の参加者対象			※教室や講座で他圏域と合同で実施している事業は該当する欄に○印を記入してください。		
7月20日	島頭南自治会館	20	4-①		通いの場体力測定・立ち上げ支援		山下PT			
－	ソラストれんか	73	5-②		認知症当事者とその家族、地域住民とが畑作業を通して 交わり、認知症に対する理解を深める					
4月9日	UR東門真団地	21	6-①		音楽療法で心と身体をリフレッシュ		講師：長江 平太郎氏（無償）			
6月27日	島頭南自治会館	18	6-⑦		認知症サポーター養成講座 通いの場の参加者対象					